

# 「ヤングケアラー」の理解 ～地域でできる支援とは～

本来大人たちが担うとされている家事や家族の世話などを、日常的に担っている18歳未満の子どもたちは、ヤングケアラーと呼ばれています。中高生に多く、中学2年生で17人に1人、高校2年生では24人に1人といられています。さまざまな環境の中におかれているヤングケアラーの子どもたちには支援（ケア）が必要です。地域でどのような支援ができるか、一緒に考えてみませんか。

講師 濱島 淑恵 氏（社会福祉学者 大阪歯科大学医療保健学部教授）

日本で初めて高校生を対象としたヤングケアラーに関する調査を実施。

2019年に元ヤングケアラーや現在の当事者たちの集いの場として

有志たちとともに、『ふうせんの会』を立ち上げた。

またメディアにも多数出演し「ヤングケアラーの現実」などを伝えている。



日 程

2022年 3月12日（土）14：00～16：00

会 場

オンライン（Zoomで開催します。オンライン受講にかかわる設定は各自でお願いします）

定 員

100名（先着順）

参加費

1,000円

参加申込み

下記にアクセスいただき、お申し込みください。入金確認後、Zoomアドレスをお知らせします。

2022年3月11日（金）17:00まで。※コンビニ / ATM でのお支払いは、2022年3月10日（木）まで

[Peatix](http://ptix.at/Hgtyer) ( <http://ptix.at/Hgtyer> )

内 容

14:00～14:05 開会挨拶（本会会長より）

14:05～14:15 行政説明「奈良県におけるヤングケアラー支援の動向」（奈良県）

14:15～15:05 講演 「ヤングケアラー」の理解～地域でできる支援とは～（講師 濱島淑恵 先生）

15:05～15:30 当事者の方の体験談（CoCoTELI 平井登威 さん）

15:30～15:55 質疑応答、まとめ

15:55～16:00 閉会挨拶、事務連絡

\* 当日、講演会終了後30分程度、体験談をお話くださった平井さんとふうせんの会のメンバーも交えた、当事者同士のミニ交流会をおこないます。（元）ヤングケアラーの方の参加をお待ちしています。

お問い合わせ

下記までメールでお問い合わせください。

件名を「講座について」とし、返信用アドレスを明記してください

[narakodomokatei@gmail.com](mailto:narakodomokatei@gmail.com)（奈良県社会福祉士会子ども家庭支援委員会）